

# 美術科学習指導案

日 時 平成22年11月17日（水） 6校時

学 級 3年A組 （男子18名 女子8名 計26名）

指導者 菊 池 寛

## 1 題材名 一枚の詩画集（絵画）

## 2 題材について

### （1）題材観

学習指導要領の「第2学年及び第3学年」の目標に「対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす」とある。また、その内容として、「対象を深く見詰め感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出すこと」「主題などを基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練ること」とある。このことを受けて、本題材のねらいは既定の表現形式にとらわれず自由に主題を発想し、多様な表現方法の中から自分のイメージに適したものを選び制作することとした。

題材「一枚の詩画集」は、人生の詩画集の中の15歳の今このときの「一枚」を作ろうというものである。今自分が何を考え感じているのか形にして残すことで、未来の自分へのメッセージにもなる。中学生の時期は自身が大きな夢や希望を抱きつつ、現実とのギャップに悩む時期でもある。よって、この願望を叶える想像の世界を表現することで精神的な満足感や充実感を得ることは重要な意味もっている。

### （2）生徒観

普段にぎやかな生徒達であるが、美術の授業には関心をもって臨む。積極的な発言は少ないがこつこつと制作に励む生徒が多い。1年生の頃から鉛筆スケッチやデザイン、彫塑などの学習を通して、グラデーションや立体感の表現、自分の考えを表現するための工夫などを身につけてきている。単純にモチーフを見て描くことや造ることはそれほど苦にならないようだが、描くものや造るものを自分で考えることを苦手と感じている生徒は多い。鑑賞では自分の作品の失敗した点や反省は数多くあげられるものの、表現意図通りにできた点やよさについては説明があまりできない。他の生徒作品については自分の作品についてよりはそのよさを理解し表現豊かに説明できる。

作品としての質を少しでも高め、自分の力を伸ばしたい、上達したいという気持ちはどの生徒の心の中にもあると感じられる。主題とその意図に合う表現を考え工夫し、よりよい作品に仕上げることで創作の喜びを感じ取らせながら表現力の向上を目指したい。また、発想が困難な場合は具体的に色々な作品例を示すことで参考にさせたい。

### （3）指導観

言葉の世界から導かれる視覚的なイメージと絵や彫刻にひそむ叙情的な要素を補い合う言葉と絵の組み合わせを試みたい。導入では意欲を高めるとともにその技術的な面も学ばせるために、作品例から完成した作品のもつ美に触れさせる。発想・構想の段階では表現の質を向上させるために、細部まで書き込んだ原画を作成させる。作品制作時には表現の多様性を理解した上で最適な技法を選択できるよう個別のアドバイスに努める。鑑賞では表現とそのよさについてより深く理解するために、自分の表現がどのように他の生徒に伝わったのかや他の生徒作品から何を感じたのかについて交流する。生徒たちの夢や心のつぶやきを詩として表現させるとともに、この時期に自分の最も表したい絵を創造し詩画集の一枚として完成させたい。

### 3 題材目標

(1) 関心・意欲・態度

多様な表現方法に関心をもち、表し方を工夫して取り組もうとする。

(2) 発想や構想の能力

自分の表したいイメージを基に自由に発想し、工夫して構成することができる。

(3) 創造的な技能

多様な表現方法や材料などの生かし方を工夫して表現することができる。

(4) 鑑賞の能力

感性や想像力を働かせて、自分の価値意識を大切にしながら作品のよさや美しさを感じ取り、味わうことができる。

### 4 題材の評価規準

ア 美術への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
多様な表現方法に関心をもち、創作詩から触発されたイメージや強く心に焼き付いているイメージを、自由に膨らませながら詩と絵の構成として表現しようとする。	形や色彩の効果を生かし、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、工夫して構成している。	自分の表現意図に合う表現方法を考え、構成や色彩を工夫して効果的に表している。	自分の作品が表している内容や表現上の工夫について適切に他者に説明でき、また、他者の作品のよさを感じ取り、味わっている。

### 5 指導計画（8時間）

時 間	学 習 内 容	関連題材 評価規準
1	① 鑑賞作品をもとに、多様な表現について理解を深めるとともに、今回の制作についての具体的な取り組み方法を知り、見通しをもつ。	ア
2	② 主題を考え、絵に表すための詩を創作する。	ア
3	③ 主題に合うアイデアスケッチをしながら、大まかに配色も考える。	ア イ ウ
4・5	④ 詩のイメージをさらに膨らませ味わいを増すように原画を作成する。 ⑤ イメージに適した表現方法を考え、制作に必要な用具、材料を選択し制作手順を練る。	ア イ ウ
6・7	⑥ 仕上がりを予想しながらいねいに制作する。	ア イ ウ
8 (本時)	⑦ 作品を展示し、お互いの作品を鑑賞する。	エ

### 6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①他の生徒の作品を鑑賞し、そのよさや美しさを感じ取り、味わうことができる。
- ②自分の作品の表現について見方を深めることができる。

(2) 表現を活かす場の設定について

鑑賞の領域では自分なりの意味や価値をつくりだしていく学習を重視し、作品などに対する思いや考えを説明し合う学習を取り入れ、説明し合ったり批評し合ったりするなどの言語活動の充実が図られるようにすることが求められている。また、形や色彩、材料などの性質や、それらがもたらす感情

を理解したり、対象のイメージをとらえたりするなどの資質や能力が十分育成されるようにすることも必要とされている。

そこで、生徒作品をお互いに鑑賞し、そのよさを交流し合う活動を通して、自分の考えを伝える表現力を高めるとともに、作品に込められた思いより深く理解させたい。

(3) 具体の評価規準

	A 十分に満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への具体的な支援
本時にかかわる観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の作品が表している内容や表現上の工夫について理解し、適切に他者に説明でき、よさや価値について批評し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の作品が表している内容や表現の工夫について感じたことを説明でき、また、他者の考えを聞くことで、自分の考えを深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品のどこに着目するかを示唆する。</li> <li>適した言葉を「語句文例集」を見ながら探させる。</li> </ul>

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	評価 (○) 支援 (*) 留意点 (・)
導入 5分	1 本時の学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時に必要な作品やワークシートの準備を確認しておく。</li> </ul>
展開 40分	2 他の生徒作品への批評 (班ごと)	<p style="text-align: center;">作品のテーマと表現のねらいを理解し、そのよさを知ろう</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>表現 (グループ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒作品を鑑賞し、そのよさについてまとめる。(ワークシート、付箋)</li> <li>他の生徒が自分の作品をどう表現したかを知る。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の参考例をあらかじめ示す。</li> <li>* 詩から主題を読み取り、絵のどの部分に表現されているかを考えさせる。</li> <li>○ 他者の作品が表している内容や表現の工夫について感じたことを説明することができ、また、他者の考えを聞くことで自分の考えを深めることができる。</li> <li><b>【観察・ワークシート・付箋紙】</b></li> <li>各班2名の作品について発表させる。(計12名)</li> </ul>
	3 鑑賞作文の発表	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>表現 (全体)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの作品ごとに、班員からの作文発表と作者のまとめの発表を行う。</li> </ul> </div>	
終末 5分	4 本時のまとめ 5 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を指名し感想を発表させる。</li> </ul>